

Webサービスを活用した ネット調達システム構築事例のご紹介

株式会社プレオマート
松瀬 義則

2005年4月15日

PLEOMART

All Rights Reserved, © 2005 PLEOMART, Inc.

Agenda

PLEOMART

1. プレオマート事業内容紹介
2. 旧システムの問題点及び新システムへの期待
3. PLESSの位置付け
4. GdFrameの概要
5. Webサービスによる効果と今後の期待

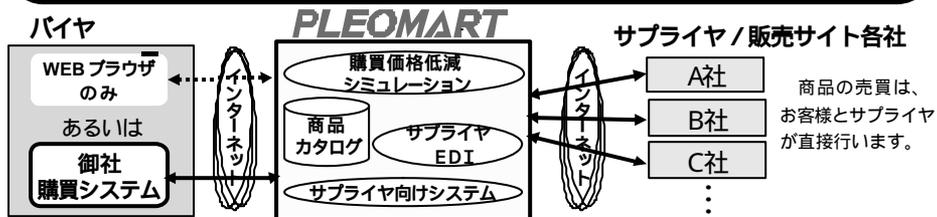
本資料に記載している全ての製品および社名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, © 2005 PLEOMART, Inc.

プレオマート事業内容紹介

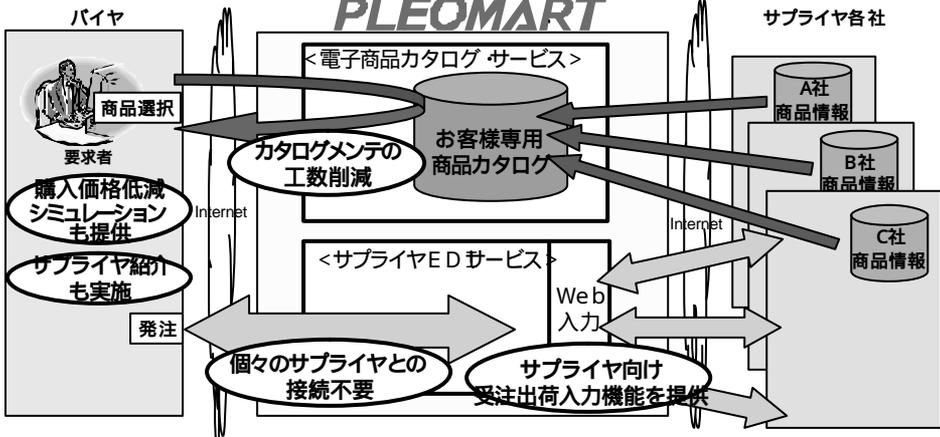
プレオマート事業内容紹介 ~プレオマートについて~

プレオマートは、**大手企業各社での間接材ネット調達の実績**をもとに、
購買価格低減シミュレーション (サプライヤ紹介含む)
サプライヤ EDI/サプライヤ向けシステムのASP提供 (業務運用含む)
電子商品カタログサービス
 を提供いたします。



社名：株式会社プレオマート
 代表者：代表取締役社長 後藤 忠彦 資本金：約11億円
 出資企業：NEC、住友商事、富士ゼロックス、日本HP他
 事業内容：間接材全般を対象とした ネット調達支援サービスの提供及び関連サービス

プレオマート事業内容紹介 ~ 間接材調達支援サービスイメージ例 ~ PLEOMART

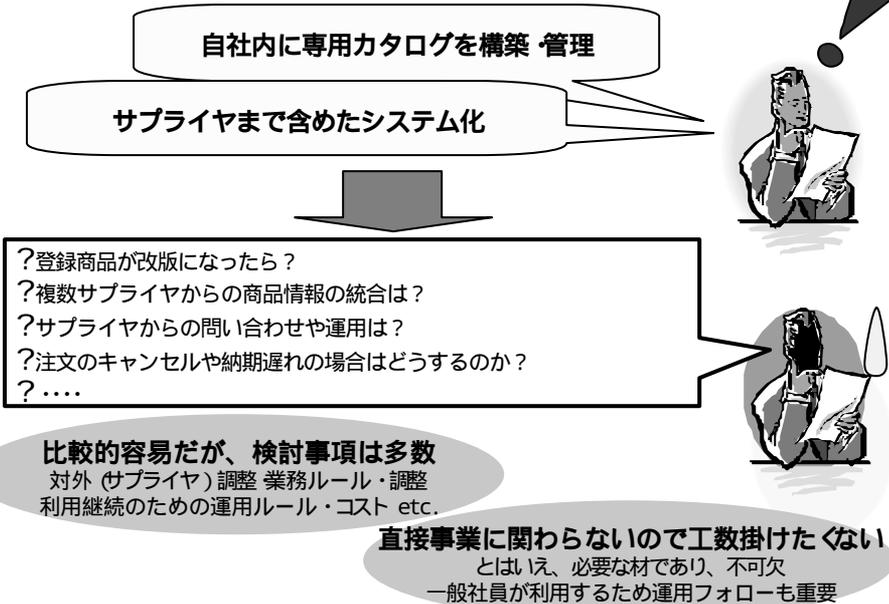


サプライヤ(販売サイト)ではないため、サプライヤに中立なサービス
 サプライヤEDはプレオマートシステムとの接続でOK
 既存サプライヤとの取引継続やサプライヤ追加において、ED構築が障害となりません
 但し、ED接続済のサプライヤとは、現行EDの継続をお勧めします。

システムの提供だけでなく、サプライヤとの業務運用支援も実施

全社間接材ネット調達の実現における課題

PLEOMART



推進 統括組織

御社の社長 (あるいは役員) の指示の元、会社として推進する体制。
コストダウンと業務改革につき、各部門に対し、権限のある組織の設置。

購買戦略立案 実行

例 商品の共通化 絞込み、サプライヤ絞込み 変更など。

業務プロセス改革

全社員が要求者となり購買するため、全社共通の、明瞭な、購買ルールも必要。

システム

全社ネット調達を支援するシステム。

サプライヤとの受発注システムとルール

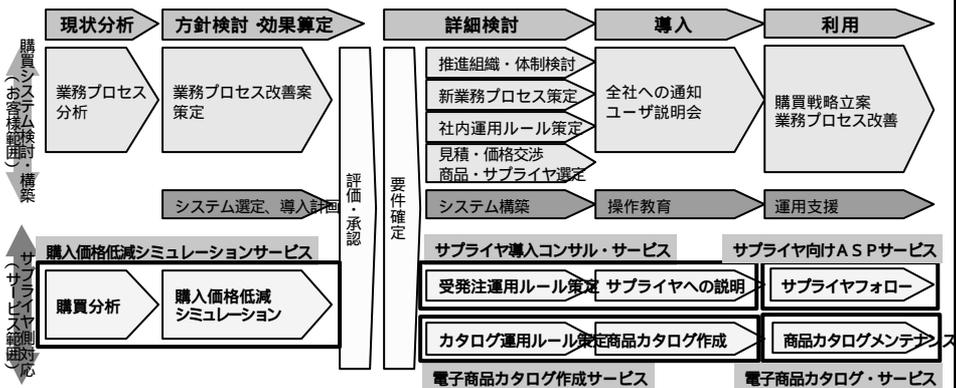
電子取引のためには、明瞭な受発注運用ルールが必要。その周知、ルールに沿って運用されていることのフォローも必要。

商品電子カタログの作成・メンテナンス

戦略購買実現のためには正確な購買実績データが必要。
正確な購買実績データは、適切な商品電子カタログがなければ実現できません。

プレオ
マートが
支援
致します

大手企業各社での実績を元に、全社間接材ネット調達の成功を支援。



購入価格低減シミュレーションサービス

全社間接材ネット調達実施時の購入価格低減額をシミュレーション。

電子商品カタログ作成サービス

商品カタログの作成を代行。
- サプライヤが商品データ準備 - カタログサーバ提供

電子商品カタログ・サービス

商品カタログのメンテナンスを代行。
- サプライヤが商品データ準備 - カタログサーバ提供

サプライヤ導入コンサル・サービス

サプライヤとの電子調達ルール作成を支援。

サプライヤ向けASPサービス

システムのASP提供と業務運用支援。

～ オフィス系間接材から業種/業務間接材へ～

対応商材

- 事務用品、トナー、紙、OA消耗品、オフィス家具など
価格競争力のあるサプライヤと連携し提供。数十%の価格低減実績
- 社用便箋、封筒、社内備品リサイクル利用など
お客様専用カタログのため、特注品や販売品以外の利用も可能
- OA周辺機器、PKGソフト、包括ライセンス、PC（標準PC）
書籍、日経BP雑誌、安全衛生保護具、理化学機器、工具類、試薬
商品入替えや価格変動が大きい商材、商品数が多い商材も対応。



一社（1サイト）の商品 / 品揃えではなく、複数サプライヤから
最適価格 / 品揃えを利用できます。
カタログ購買比率の向上が見込めます。

旧システムの問題点及び新システムへの期待

1998年から稼動してきた旧システムにも限界が訪れた。

- ・OSの老朽化 (サポート期限切れ)
- ・システム全体が古いアーキテクチャで構成
- ・既存インタフェースの変更が困難
- ・増加する取引量にパフォーマンスが追いつかない
- ・バイヤ/サプライヤの追加に柔軟な対応ができない



All Rights Reserved, © 2005 PLEOMART, Inc.

10

これらの問題を解決するためには

- ・HWやOSの刷新が必要
- ・データベーススキーマの見直しが必要
- ・アプリケーションの最適化が必要
- ・事業の拡大に柔軟に対応できるシステムが必要



システム再構築を検討 (2003年春)。
これらの要件を満たすシステムの基盤となる製品を模索。

GdFrameとAsteriaをベースにした PLESSの開発を決断

Pleomart i/f System for Supplier (開発コード)

All Rights Reserved, © 2005 PLEOMART, Inc.

11

絶対的システム要件

柔軟性 拡張性高い
システムを構築する

実現できる手段は
GdFrame
の採用

**Webサービスによる
疎結合な連携が解決**

**短期間での連携
実現が必達！**

複数の外部システム
と容易に連携する

実現できる手段は
Asteria
の採用

ビジネスモデルの変化に
柔軟に対応できる
システム基盤

バイヤ・サプライヤの
さまざまな要件に素早く
対応可能

新しいテクノロジー
・NET Framework
・XML Webサービス

パフォーマンスの最適化、
時代の流れに容易に追従

革新的なDBスキーマ



GdFrame データベースに蓄積された履歴データにより、業務レベルのオペレーション追跡が容易になり、ユーザビリティが向上

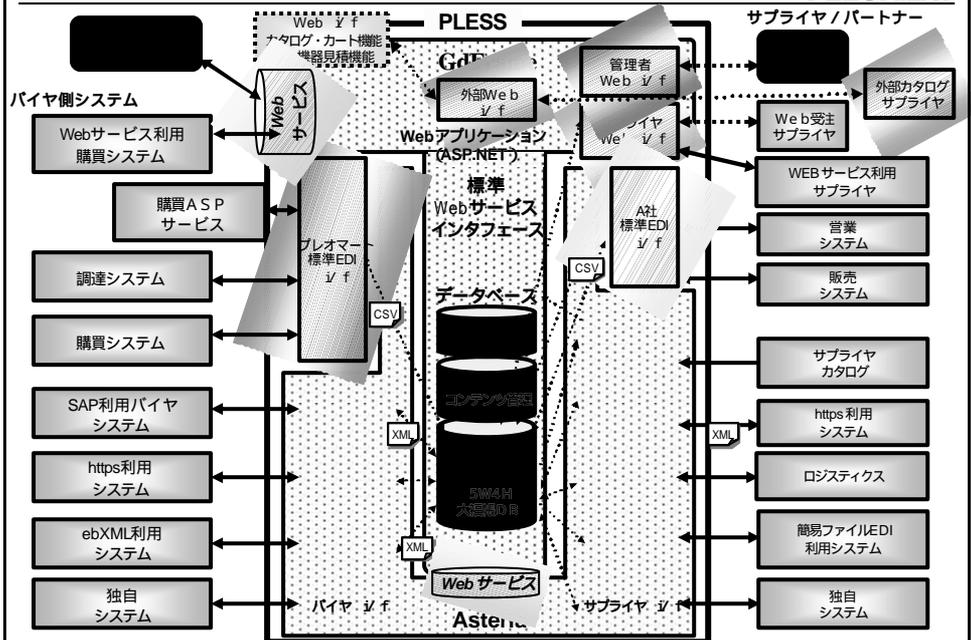
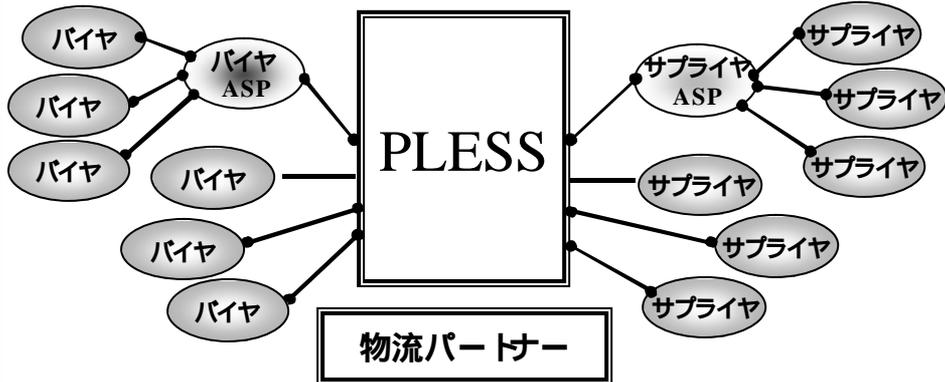
XML Webサービスの採用により他システムと容易に連携

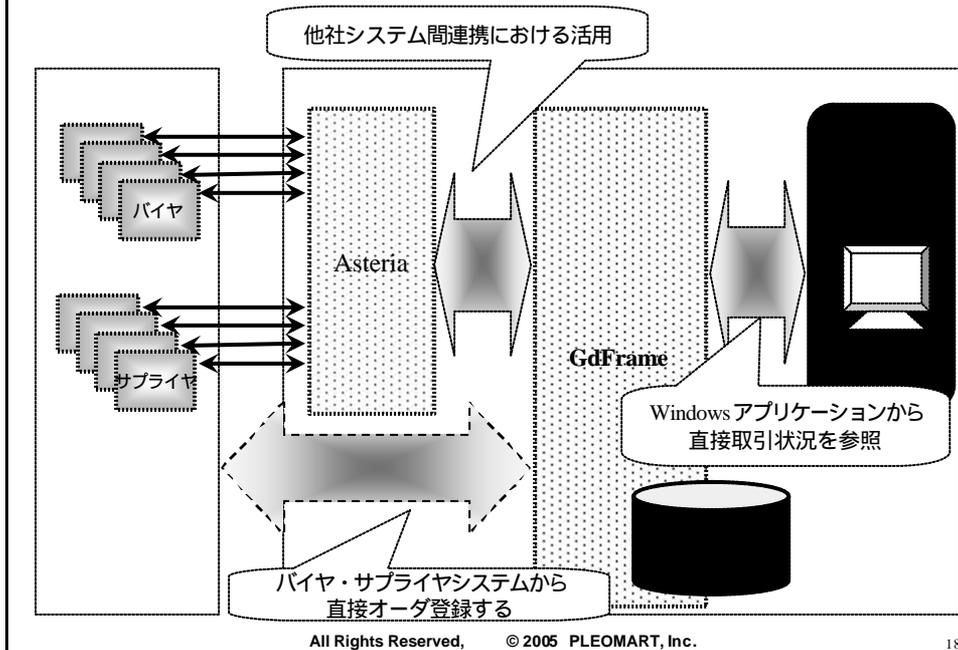


新規バイヤ・サプライヤとの接続リードタイムの大幅短縮
Webサービス利用バイヤ・サプライヤとの簡易連携
運用担当者から自由にデータ参照が可能

PLESSの位置付け

間接材調達におけるバイヤ・サプライヤ間取引において
各システムのハブ的位置付けとなり、お客様における
導入期間および運用コストを大幅に削減するシステム





GdFrameの概要

GdFrame とは



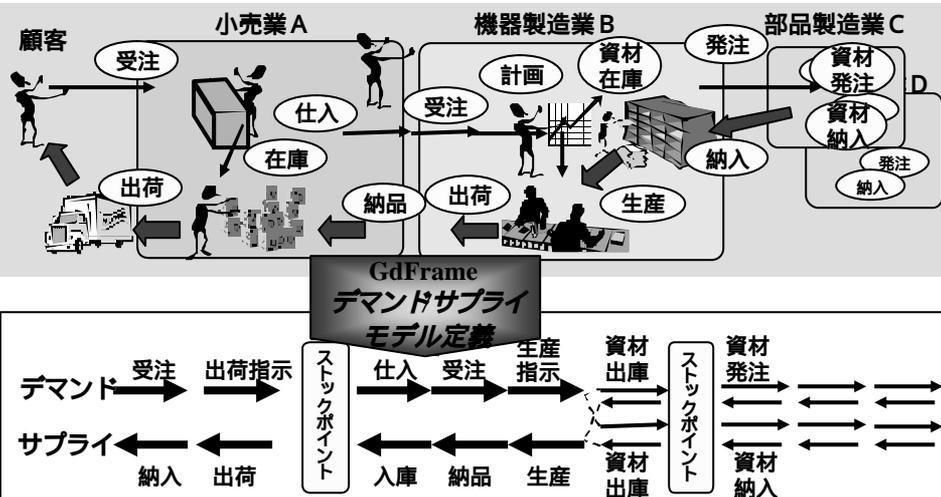
ビジネスモデルの変化に柔軟に対応できる
業務アプリケーション構築基盤

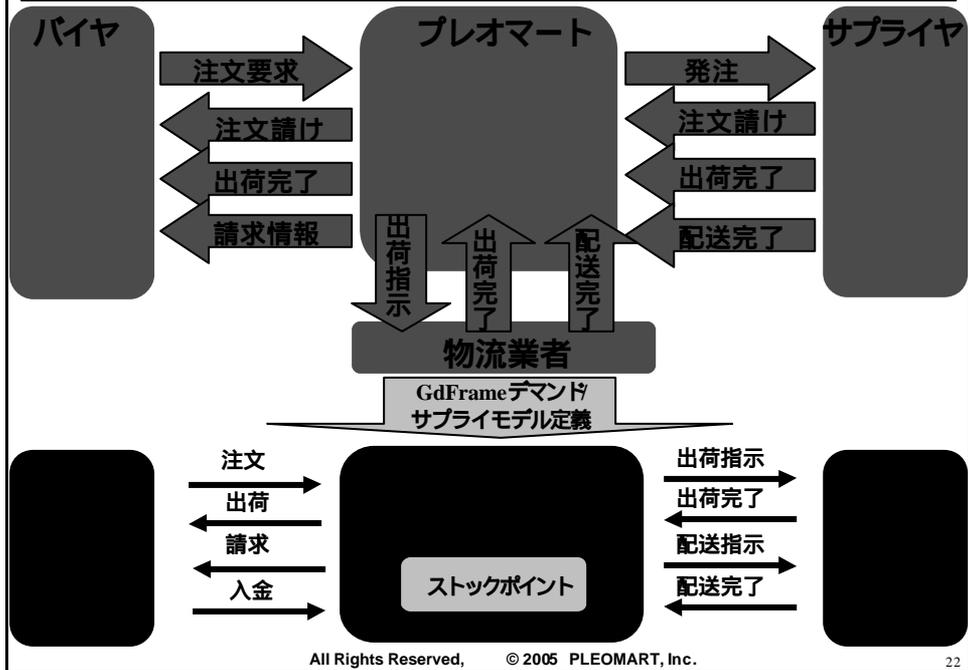
GdFrameの
方法論



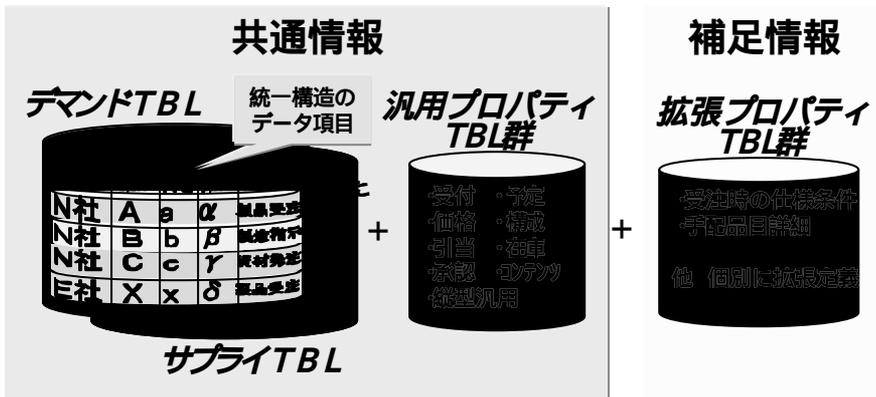
- 業界、業種、業務に依存しない
「**デマンド**」 「**サプライ**」
による汎用的なモデリング手法
- 普遍のスキーマを持つ
統一構造のデータベース

ビジネス情報の基本は、他部門への「要求・指示」と対応した「実績報告」
で成立している。「要求・指示」を「デマンド」、「実績報告」を「サプライ」と定義する。





デマンド情報、サプライ情報を 統一構造の共通情報と
それ以外の補足情報に分けて、情報を正規化して格納する。



Webサービスによる効果と今後の期待

Webサービス導入による効果

Webサービス導入

効果

1. 新規バイヤ/サプライヤとの接続リードタイムを大幅に短縮
2. バイヤ/サプライヤとの接続の変更/追加に柔軟に対応可能
3. 将来に向けた柔軟性を確保し、他社サービスと差別化

Webサービスの特徴

- インターネットを利用したリアルタイムなデータ連携共有が可能
- 通信プロトコルやインターフェース、データフォーマットなどは標準技術を活用する



Webサービスに対する期待

- バイヤー/サプライヤのシステムとのリアルタイムなデータ連携の実現
- 標準に基づく技術を採用することで、
 - ✓ 新規バイヤー/サプライヤとの接続の際のコストリードタイムを削減
 - ✓ 大規模なシステム投資が難しいパートナーとも、短期間で接続可能
 - ✓ 今後、特定のベンダやソフトに依存せずシステムを改変させることが可能
- 新規取引先を拡大するためのチャンネルの一つとしてWebサービスを活用

株式会社プレオマート

電話 : 03 - 5443 - 5120 (代)

E-Mail : info@pleomart.com

URL : http://pleomart.com/